

はくしま

拜崎治恵女

2018年1月18日

第87号

発行人：齊藤 慎一郎

発行：特別養護老人ホーム白島荘

〒562-0012 箕面市白島三丁目5番50号

TEL：072-724-5511

FAX：072-720-2054

ホームページ：http://www.osj.or.jp

メール：hakusima@osj.or.jp

新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎え、早1ヶ月が経とうとしています。新年を皆様どのように過ごされましたでしょうか。

さて、今年の干支は戌年です。戌年に使われている「戌」という字について少し調べてみました。「戌」という字は元々「滅(めつ・ほろぶ)」という意味で、草木が枯れる状態を表しているとされています。これだけ聞くと何か悪いことが起こりそうな年を感じさせてしまいますが、戌年の前の酉年は、成長してきた草木が実を結び果実が成熟した状態を意味しています。また、戌年の後の亥年は、滅びた後に新たな種子ができる状態を意味しており、新しい生命の始まりを予感させる年とも言えます。

つまり、戌年の「ほろび」は、実を結んだ草木がいったん枯れ、その後で新しい芽吹きへと生命が繋がっていく、そんな生命のバトンタッチの意味も持っているようです。また、十二支はもともと先に漢字があり、覚えやすいように後から動物の名前「犬」を当てはめたものですが、その犬が一度にたくさんの子を産み、安産であることから、生命力に満ち溢れたイメージもあるようです。いかがでしょうか。新しく生まれかわりの年だと感じるのは私だけでしょうか。

白島荘もご入居者・ご利用者にとって、より良いサービスを提供するために、生まれかわりの積み重ねが必要だと思っております。ご入居者やご利用者の状態は日々変化があります。今行っている支援を見直し、改善していくことの継続です。今後は重度化により認知症の方や医療的ケアが必要な方の利用が増えることが予想されます。白島荘でもより専門性を高め、認知症ケアや医療的ケアの充実を深めていきます。具体的には、認知症に関する専門的な研修の受講を進めること。その研修を修了した職員を中心に定期的な技術指導会議を開催しケアの指導や助言を職員に行います。

医療的ケアについては、重度化等により痰の吸引が必要となった場合、夜間の支援体制の更なる充実が必要です。そのためには介護職員が喀痰吸引等行える体制整備が必要不可欠となります。喀痰吸引等研修を修了するには実地研修が必要であり、喀痰吸引等研修の実地研修先として白島荘の登録を行います。

実地研修については、ご入居者やご家族のご協力が必要となり、お願いすることもございます。安心して白島荘で過ごしていただけるよう努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



白島荘 副施設長
高上 忍





皆様 新年おめでとうございます

家族会会長 西村 幸子

めまぐるしく変貌する世の中、昨年はあまりいいニュースに恵まれませんでした。ここ白島荘は穏やかに日々が過ぎていきました。

白島荘の理念である「よりそう介護」を身にしみて感じることができました。去年亡くなられた日野原重明先生が話されている「KEEP ON GOING」を実践されていると思います。少しずつ、少しずつゆるやかに前進している、そう思われます。

ご利用者の方々も遠足を楽しまれたりして、慌ただしい日々の中にも小さな幸せがあるようにお見受けします。年頭にあたり、さまざまな思いを持ちますが欲張らず、焦らずに生活していきたいと思ひます、末筆になりましたが皆様の御健康、御多幸をお祈りします。白島荘のスタッフの方々、今後ともよろしくお祈り申し上げます。



京都出身で京都で小学校の先生をしていました。定年後には箕面に引っ越してきて趣味のガーデニングや裁縫をして楽しんで過ごしていました。宜しくお願いします。

バジル 井上 成子様

豊中市出身で箕面に住んでいました。今年の11月よりバジルユニットに入所しています。書道が趣味でお部屋にも作品を飾っています。これから宜しくお願いします。

バジル 山口 秀子様



初めまして、佐藤トシです。歌うことが好きです!宜しくお願いします。

ミント 佐藤 トシ様



若い頃から柔道をしています。2段の腕前です。仕事は教員をしていました。校長にまでなり63歳で退職しました。現在95歳、食べる事が大好きです。100歳まで頑張ろうと思ひますので宜しくお願いします

ハイビスカス 奥村 壺夫様



初めまして。阪本登代子と申します。旅行が好きで若い頃は日本中旅行に行きました。五木ひろしも大好きです。またいろんなお話が出来ると嬉しいです。宜しくお願いします。

ミント 阪本 登代子様

グループホーム

「華の家」通信 華の家近況



「華の家」では、今、お菓子作りが流行中です。調理に参加していただくための、お菓子作りレクからの発展で、お誕生日のお祝いケーキもご利用者とスタッフが協力して作っています。皆さん甘い物大好きなので、作っている時から期待感に満ちた良い笑顔を見せてくださいます。



少し暖くなる初冬の頃、散歩にご一緒すると、落ち葉が気になるとのお話が聞かれ、それではと散歩の代わりに落ち葉ひろいをして頂きました。歩道や車道に風で飛ばされないくらいに減るまで、黙々と作業され終わるころには「体が温まって、気分が良い」と笑顔で仰って下さいました。

(担当:秋元)

*「華の家」では、随時ブログを更新しています。是非、楽しく活動している様子をご覧ください。



医務室だより 免疫力を高めよう!



例年であればインフルエンザもA型が年内に、年明け頃からB型が流行し始めますが今年は早い時期からB型インフルエンザも流行しています。予防としてはワクチン接種・うがい・手洗い・マスクの着用は御存じだと思いますが免疫力を高め病気を寄せ付けない身体にする事も大切です。

では、免疫力を高めるためにはどうすれば良いのでしょうか。

① バランスの良い食事を!

特にタンパク質(肉・魚・大豆など)や抗酸化力作用のある野菜(人参・トマト・ホウレンソウなど)を摂りましょう。朝食もしっかりと摂りましょう。

② 睡眠を十分に!

免疫力をつかさどる自律神経は眠ることでバランスが保たれています。1日7~9時間が理想です。

③ しっかりと体を温める。

体温が1度下がると免疫力が3割低下すると言われています。シャワーだけでなく湯船にしっかりとつかりましょう。

④ 笑いましょう!

笑いには免疫力を高める効果があると言われています。大きな声で笑いましょう! 皆さん、免疫力を高め感染症を予防しましょう!

*希望された方のインフルエンザワクチン接種は終了しています。

(担当: 岡本)



栄養科だより

年末から年始にかけての行事で、食事でも季節を感じる献立を提供させていただきました。

12月は冬至にかぼちゃの煮物、クリスマス料理といちごケーキ、大みそかの年越しそば、事業所ごとにおでん、ちゃんこ鍋、すき焼き等のイベント食があり、年が明けて1月はおせち料理にはじまり鯛の塩焼き、親子ちらし寿司など三が日のごちそう料理、七草ご飯などがありました。



おせち料理は今年から雰囲気を変えて専用の容器に入れて提供し、白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」で作成したおしながきを添えて見た目にも華やかな雰囲気を感じていただきました。



これからも季節感を感じ、楽しんでいただける食事を提供できるよう取り組んで参ります。(担当: 板野)

介護科おもやま話

先日ジャスミンユニットでクリスマス会を行いました。雰囲気づくりとして当日の朝からユニット内にクリスマスの音楽を流し、いざクリスマス会が始まると皆様十分にクリスマスの空気を感じ取って下さったようでした。普段はイベントごとに参加される事が少ない方や最近まで体調不良だった方もとても笑顔で楽しまれていました。職員からのクリスマスプレゼントとして手作りメッセージカードをお渡しし、皆様喜んで下さり良かったと思います。

クリスマス会では恥ずかしがり屋のご入居者同士が隣に座り共に楽しまれていたり、ケーキのろうそくをご自分で消されるといった一面の発見もあり普段とは違った姿に驚いたり、ご入居者が終始明るく楽しまれたのはもちろん、職員も一緒になって楽しむとても良いイベントとなりました。

(担当: 清水)



ボランティア交流会

毎年ボランティア交流会は2月頃の実施となっていました。今年度は、感染症流行時期を避け11月21日に実施させて頂きました。

はじめの自己紹介ではそれぞれの活動のお話があり新しい発見や今後の活動においてボランティアの方々和白島荘の絆が深まるような場でした。次に、白島荘で行っている看取り介護の発表をさせて頂きました。その内容を熱心に書き留めておられ、「あなたが望む最期」というテーマで意見交換を行わせて頂き、普段はお聞きできないお話を聴かせて頂くことができました。

また、箕面市手作り紙芝居コンクールで、特別賞市議会議長賞を受賞した紙芝居(生活介護にて作成)を披露させて頂き、大きな拍手とともに、紙芝居の中の「ひつじともりのなかまたち」のように、心の中まで温かくなり、白島荘グループとしての活動を多く知って頂く機会となりました。



最後に、翌日行われる第5回全国棒サッカー大会出場のお知らせと、実際にボランティアの皆様体験して頂き、皆様の視線が一つのポールに向けられ、ルールを忘れて夢中になられている姿に職員一同元気を頂き、今後もボランティアの方々のお力添えを賜りご利用者・ご入居者の方々の笑顔を一緒に護っていることへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。ご参加下さいました皆様本当にありがとうございました。(担当:大西)



機能訓練

棒サッカー



皆さんこんにちは白島荘で機能訓練指導員をしております理学療法士の佐々木です。毎日、寒い日が続きますが皆さんご健康に過ごされているでしょうか。

私は毎日、東大阪市からバイクで1時間以上かけて通勤しておりますが寒さで手がかじかんでしまいくころには手が固まってうまく動きません。早く暖かくなって欲しいものです。

さてこの度、白島荘に入居されている方々である取組みに参加したご報告します。今年の6月頃より棒サッカーなるものを始めました。こういったものかというと椅子や車イスに座った状態でサッカーボールを棒で叩いてゴールを目指すものです。

始めた当初は入居者様・職員ともにアタフタしながら行っていましたが次第に白熱し盛り上がっていきました。

そして、11月22日に第5回全国棒サッカー大会に参加することが出来ました。全25チーム総勢600人の方々が参加。サッカーの釜本邦茂さんが始球式を行うなど盛大に行われ入居者様も楽しめました。

入居者様の笑顔を見る事が出来るのは我々にとって何より嬉しい事で、今後とも様々な取組みを考えていければと思います。



光明の郷ケアセンター ズームアツプ



「光明の郷ケアセンター」では随時、見学・相談・体験の受け入れを行っております。お気軽にお問合せ下さい。

地域活動支援センターの紹介

地域活動支援センターでは、光明の郷ケアセンター祭りで展示する大きなランプシェードを創作しました。また、クリスマスカードの作成も行いました。音楽活動ではクリスマス演奏会を行うために歌の練習や、手作りの楽器を使い太鼓でリズムをとったりして楽しみながら音楽活動を行えました。演奏会が近づくと、「緊張する」や「早く演奏会を行いたい」等、様々な声をご利用者から聞こえてきました。いざ、演奏会が始まると、緊張もされていましたが、楽しみながら披露することが出来ました。聴いて頂いた方からは、「とても良かったよ」や「また、してね」等おっしゃって頂けました。ご利用者も自信に繋がったと思います。



また、その他にも光明の郷センター周辺を散歩したり、外出行事にも取り組み、ご利用者も気分転換が出来たようで笑顔で過ごされています。様々な活動を行っているので光明の郷ケアセンターにお越しの際には是非3階にお越し下さい。(担当:浦松)

相談支援センターの紹介

光明の郷相談支援センター「はくしま」では障害者(特定と児童)の計画相談を承っております。箕面市東部地域の課題やニーズの把握を行い、今後何ができるのかを検討しながらご利用者に寄り添ってその人らしい生活を送っていただけるようサポートしていきます。現在特定が46名、児童が26名の72名で、東は彩都から西は瀬川までほぼ箕面全域を担当させていただいています。今の生活で困っていることや相談したいことがあれば気軽にご連絡ください。お待ちしております。(担当:平櫛)

小規模多機能「ひねもす」の紹介



寒さが厳しい季節ですが、「ひねもす」では室内でも楽しんで過ごして頂けるよう体操や運動、安全に楽しんで頂けるレクリエーションをご提案させて頂き、元気に過ごされています。今回、おやつレクリエーションでは餃子ピザを作りました。皆様、好きな食材で思い思いの手作りのピザを作られ、楽しまれていました。また、手毬作りが上手にご利用者に教わりながら職員が慣れない手つきで手毬を作り、プレゼントをする事が出来ました。



地域に密着した施設として、これからも地域の中で活動をさせて頂きたいと考えています。介護の相談や何かお困りごとがあれば、お気軽に「ひねもす」へご相談ください。住み慣れたご自宅で安心して暮らし続けるお手伝いをさせて頂きたいと思っております。(担当:岡田)

白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」の紹介

白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」では、生産活動を行っており、紙漉き、名刺作りを中心に作業を行っています。また、新たな作業として苔玉作りにも挑戦し、販売を行いました。苔玉作りを行っている時は、本当に売れるのか心配でしたが、いざ販売を行うと、そんな心配もよそに完売いたしました。さらに、お客様から「また苔玉を作ったら教えてね、買うから」と言って頂けました。ご利用者も大喜びし、「またいっぱい作ろう」と活気づきました。紙漉き作業でも新たに、お正月用のお祝い膳の用紙を作成しました。作業量もたくさんあったので少し忙しくなりましたが、ご利用者は仕事があると喜んでおられます。



また、作業以外でも外出したり、光明の郷ケアセンターで焼き芋を行ったりご利用者、職員共に楽しい日々を送っています。光明の郷ケアセンターにお越しの際には是非3階にお立ち寄り下さい。(担当:浦松)

高齢者デイサービスの紹介



この寒い季節を旬なものを使って元気に過ごす催しを行いました。その一つがかわり湯です。12月～1月にかけて週替わりでりんご、ゆず、ひのきボールをお風呂に浮かべ、それぞれリラックス効果、血行促進、新陳代謝、疲労回復、美肌効果などいろいろ期待できるお風呂をお楽しみいただきました。今後もイベントとしてかわり湯をやりたいと思います。

もう一つが、先日は箕面市からいただいたサツマイモを使ってセンター全体で焼き芋をしました。熾火でじっくり焼いた芋は黄金色になり当日のご利用者でおいしくいただきました。ご自宅ではトースターでも簡単にできます。サツマイモも焼き芋にするとさらに栄養価が高くなり体にいいですね。(担当:宮島)





こんにちは 白島荘居宅の池田です。今年もよろしくお願ひいたします。さて皆さまお聞き及びでしうか、平成30年4月は6年に一度の医療・介護両保険の同時改正があります。今回は居宅に繋がる部分の特にご説明させて頂きたいと思ひます。但し、これはあくまでまだ素案で、決定は今年3月末頃だと思ひますので予定情報です。

- ポイント1** 医療介護の連携の強化。利用者様が入院されたら、3日以内に在宅での状況を医療機関に繋げる事。(入院されたらケアマネにご一報をお願いします)
- ポイント2** 訪問回数の多いヘルパー利用(生活支援)の利用制限(ケアマネが必要性を申告)
- ポイント3** 公正中立なケアマネージメントの確保。ケアプラン点検を行い、質を確保する。

最近とみに介護保険更新時期の認定調査の結果が厳しくなっている感想を持っております。今2025年問題と言われる団塊の世代が後期高齢に入られる年代までに元気高齢者を増やしたい意向の国の政策で、そこまで時間はあるのですが…来春には又決定した改正の説明と同意を頂きに書類を持って個別訪問をさせて頂く事になると思ひます。何でもご忌憚のない質問やご意見をお教え下さい。書類ばかりでごめんなさい。何卒よろしくお願ひいたします。

平成29年度

苦情内容について



平成29年4月からこれまで、数件のご意見をいただいております。内訳は、ショートステイ5件、訪問介護事業所2件、居宅介護事業所1件、グループホーム1件、デイサービス3件、小規模多機能型居宅介護事業所1件、で、内容は職員の言動に関する事4件、ケアの内容について2件、ご家族等への説明不足3件、送迎に関する事3件、認定調査の対応1件の13件でした。苦情内容は苦情解決委員会にて報告し、第三者委員の方々も参加して、解決手順や改善内容に対して貴重なご意見を頂戴しながら、ご入居者及びご利用者にとって安心で満足できるサービス提供に繋げています。

対象事業：訪問介護

苦情内容 独居高齢者のご家族より、本人が前日夜間に急遽入院したが、事業所にキャンセル連絡をしていないので、予定していた訪問にヘルパーが訪問した際、本人は不在だった筈である。しかし、本人不在の連絡は家族には何もありませんでした。不在であることに「おかしい」と思って連絡する必要があるのではないかとのご意見をいただきました。

対応策 訪問時にご本人が不在であった事はヘルパーからサービス提供責任者へ報告をしていたが、ご本人がよく教会に行かれています。この日も同様であると思ひ、「おかしい」と思はずご家族へ連絡していません。勝手な思い込みをせず、不在時のみならず変わったことがあった際はケアマネジャーを通じて家族連絡を行うことを再度徹底しています。

対象事業：ショートステイ

苦情内容 ご家族より送迎職員について、あまり話されることがなく笑顔が見られない。また、ご利用者が車のシートに座られた際、きちんと深く座っていないままベルトをして出発してしまったことがあって少し不安だったとご意見をいただきました。

対応策 車のシートに深く座られているか確認を行い、ご利用者の足が上がりにくい場合はご家族の協力も得ながら座っていただくこと、また対人援助の仕事であり、ご家族、ご本人に気持ちよく過ごしていただけるよう常に笑顔を中心掛けるよう指導しています。

対象事業：グループホーム

苦情内容 職員が異動により変わったが、頼りないように感じるとのご意見をいただきました。会議日程を調整していたが、日程を間違えており直前に日程変更連絡があったり、介護保険の更新認定手続きについて、「初めてでよく分からないのでお願いします」とメールがあり、分からないのでお願いしますという事では家族が不安になり、もっとしっかりとした人に対応してほしいとのご意見をいただきました。

対応策 メールでのやり取りのみでは、真意がきちんとご家族に伝わっていないことがわかりました。職員が変わったことにより信頼関係を構築することが不可欠であり、そのためにも電話で相談が必要であったことや、日程間違いのないようスケジュール管理を徹底するよう指導しています。

★ボランティア募集★

特別養護老人ホーム白島荘、光明の郷ケアセンターなどでのボランティアに興味のある方はお電話下さい。

活動内容 お話相手、行事補助、クラブ活動、喫茶補助、その他何か取り組みたいことなどあればお気軽にご連絡下さい。

○お問い合わせ
☎ 072-724-5511 担当 熊倉

見学・受付について

入所、ご利用についてのご相談なども含め、お気軽にお越しください。なお、見学をご希望される方は事前にお電話にてご予約いただいた上、お越し下さいますようお願い致します。特別養護老人ホーム以外にもデイサービスセンターやケアマネジャー、ホームヘルパーなどのご相談、ご利用についてなども、まずはお電話下さい。

○お問い合わせ
☎ 072-724-5511 担当 大西・朴

編集後記 新年あけまして、おめでとうございます。平成30年が始まり、昨年お世話になった皆様には感謝申し上げます。さて、白島荘では朝市や棒サッカー大会への参加などさまざまなことにチャレンジしています。何気ない日々を過ごすことの大切さと、新しいことにチャレンジする大切さを感じながら職員一同、ご入居者、ご利用者のためにこれからも精進して参りたいと思っております。今年もよろしくお願ひ致します。